

# I. 長期戦略テーマ別帳票

## テーマ「教育分野の再編」

提出日 2022年8月24日

 長期戦略テーマの責任者  
 (統轄部署)

 総合企画部長  
 小野 宏  
 (総合企画部)

### 1. 長期戦略のテーマ

超長期ビジョン	長期戦略(テーマ名)	統轄部署
1 学士課程教育	(4) 教育分野の再編	総合企画部
<b>内容</b> <p>産業構造の変化に伴って人材需要も変化し、そのことが受験市場の動向にも影響を及ぼす。こうした出口・入口の市場の変化に応じて教育分野の再編が必要となる。特に18歳人口の減少で入学者の学力低下が見込まれる中で、学力の相対的に高い層の獲得が重要命題であり、長期的な視点に立って選抜性を維持するための制度上の変革が求められる。</p> <p>新たな分野(学部・学科)を設ける場合も、大学全体の定員を維持(または縮小)しながら「組み替え」を原則とし、既存分野の定員を縮小して選抜性を高め、偏差値の向上に結びつける。</p> <p>特に、神戸三田キャンパスでは、理工学部が急速に拡大してきたこと等から総合政策学部の一部も視野に入れた分野再編に取り組む。検討に際しては、キャンパス固有の教育システムを確立して魅力を高めることを念頭に置く。</p> <p>分野再編にあたっては、大学として将来的な人材需要の動向を予測し、分野ごとの新設・拡張・縮小の戦術を立案する機能を確立する。</p> <p><b>【フェーズⅠの Total Review】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年4月に向け理系分野再編を推進し、一般入試においてもKSC全体で前年比約1.4倍の志願者を集めた。</li> <li>・KSC再編活性化が2025年まで続くことから、計画的・継続的な支援や募集広報戦略の立案・遂行支援を行う必要がある。</li> <li>・学部・学科の開設が志願状況に大きな効果がある。文系、理系それぞれで、受験生に人気が高く(志願倍率高い)、社会の人材需要も高く、偏差値が本学に適している分野を抽出しておく必要がある。既存学部の定員を調整しながら新しい学部・学科を開設することで、徐々に学びの分野・形態を変化させていく必要がある。</li> </ul> <p><b>【フェーズⅡに向けた課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代のニーズにあった新たな教育分野の開発、学部・学科の設置提案に向けた情報収集の強化</li> </ul>		

# I. 長期戦略テーマ別帳票

## テーマ「教育分野の再編」

提出日 2022年8月24日

長期戦略テーマの責任者  
(統轄部署)

総合企画部長  
小野 宏  
(総合企画部)

### 指標 1

指標	内容					
指標名	再編による新設学部の入試難易度(偏差値)					
定義・算式	学外教育情報機関における偏差値					
現状値 (指標設定時)	非公開					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	非公開		非公開		非公開	
実績値	2019年度	非公開	2022年度		2025年度	
	2020年度	非公開	2023年度		2026年度	
	2021年度	非公開	2024年度		2027年度	

### 指標 2

指標	内容					
指標名	再編による新設学部生の就職状況					
定義・算式	1) 再編学部生の就職・進路決定率 2) 再編学部生の有名400社比率 就職(400社)÷就職 ※就職者のうち、400社に就職した人の割合					
現状値 (指標設定時)	—					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	今後検討(全体では32.5%)		今後検討(全体では34%)		今後検討(全体では35%)	
実績値	2019年度	—	2022年度		2025年度	
	2020年度	—	2023年度		2026年度	
	2021年度	—	2024年度		2027年度	

# I. 長期戦略テーマ別帳票

## テーマ「教育分野の再編」

提出日 2022年8月24日

 長期戦略テーマの責任者  
 (統轄部署)

 総合企画部長  
 小野 宏  
 (総合企画部)

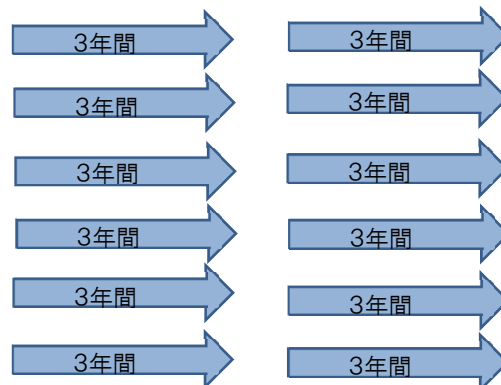
### 2. 実施計画ロードマップ

実施計画		担当部署	学部・研究科での 取組み有/無	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
①	人材需要の動向についての 情報収集・分析・予測	総合企画部	必要なし	3年間			3年間			3年間		
②	分野再編の具体的な立案 (KSC再編・活性化)	学長室・総合企画部	必要なし	3年間			3年間			3年間		
③			必要の有無 を選択ください。									
④			必要の有無 を選択ください。									
⑤			必要の有無 を選択ください。									
⑥			必要の有無 を選択ください。									
⑦			必要の有無 を選択ください。									
⑧			必要の有無 を選択ください。									
⑨			必要の有無 を選択ください。									
⑩			必要の有無 を選択ください。									
【備考欄】												

#### ※想定される実施計画の例示

- ①. 人材需要の動向についての情報収集・分析・予測
- ②. 分野再編の具体的な立案
- ③.
- ④.
- ⑤.
- ⑥.
- ⑦.
- ⑧.
- ⑨.
- ⑩.

#### ※ロードマップ策定作業用記号



# I. 長期戦略テーマ別帳票

## テーマ「教育分野の再編」

提出日 2022年8月24日

 長期戦略テーマの責任者  
 (統轄部署)

 総合企画部長  
 小野 宏  
 (総合企画部)

### 3. 本長期戦略テーマの各実施計画に関する費用、人員の合計 (2019年度～2027年度)

#### ◆フェーズⅠ：2019年度～2021年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2019年度	2020年度	2021年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

#### ◆フェーズⅡ：2022年度～2024年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2022年度	2023年度	2024年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

#### ◆フェーズⅢ：2025年度～2027年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2025年度	2026年度	2027年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

### 4. 進捗状況等記入欄

	進捗状況および今後の課題、方向性
2019年度	2021年4月よりKSCを2学部体制から5学部体制に改組することに伴い、大学評議会の下に「KSC再編活性化委員会」を設け、大学主導にて設置申請・広報活動を進めた。開設まで継続的に受験生確保等入試広報活動を行う必要がある。
2020年度	KSC再編活性化委員会の下、入試広報施策を実施し、受験者数昨年比1.44倍の成果を得た。また、新入教員着任準備や同研究室設置工事、KSC「合同」事務室の実施等に取り組んだ。引き続き、「受験生確保」に向けた各種入試広報施策に取り組むことに加え、新棟建設にあわせて、Sustainable Energy 一大拠点等支援を行う必要がある。
2021年度	KSC戦略推進本部の下、You Tuber等を活用した入試広報施策を展開して、受験者数は昨年比1.13倍で2年連続での増加という成果を得た。また、分野横断型教育プログラム活性化のための学生の意識醸成イベントを実施に加え、「Spring-8 ビームラインを活用したPBL授業」も開講された。今後は、KSCⅧ号館の供用開始にあわせて、天体望遠鏡を使った公開イベントやSustainable Energy 一大拠点、分野横断型教育プログラム等のKSCの特長をさらに発展させるための支援を行う。
2022年度	
2023年度	
2024年度	
2025年度	
2026年度	
2027年度	